

## 地球温暖化

2007年2月、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）より第4次報告書が公表されました。報告書は「地球全体が温暖化していることに疑問の余地はない」、「20世紀半ば以降の温暖化は、人為起源温室効果ガスが原因である可能性が非常に高い」と結論づけています。今年の公開気象講座では、IPCCの活動と第4次報告書作成の経緯と内容、気候モデルによる最新の温暖化予測結果、身近な気候変化の実態の解析結果について話題提供いたします。

日時：2007年8月26日(日) 13:00～16:00 (開場 12:30)  
場所：名古屋大学野依記念学術交流館 2Fカンファレンスホール

### プログラム

- 1.開会の辞 13:00～13:10  
湯田憲一（名古屋地方気象台）
- 2.「地球温暖化問題に関する科学アセスメントとしてのIPCC報告書について」 13:10～14:00  
神沢博（名古屋大学大学院環境学研究科）
- 3.「地球温暖化の将来予測とその信頼性」 14:00～14:50  
江守正多（国立環境研究所地球環境研究センター）
- 休憩 14:50～15:00
- 4.「温暖化で名古屋の夏はどうなる？」 15:00～15:50  
大和田道雄（愛知教育大学理科教育講座）

申し込み方法：直接会場にお越し下さい。  
定員：200名  
受講料：500円（テキスト代込み）  
主催：日本気象学会中部支部・  
名古屋大学地球水循環研究センター  
後援：名古屋地方気象台・日本気象協会  
問い合わせ先：名古屋市千種区日和町2-18  
名古屋地方気象台内  
日本気象学会中部支部  
公開気象講座事務局  
電話：052-751-5124

